

世界の舞台 ブラボー

清水寺で初オペラ

世界遺産・清水寺（京都市東山区）で23日夜、初めてオペラが上演された。創立250周年を迎えたイタリア・ボローニャ歌劇場と日本芸術振興協会による共同制作。当初は「清水の舞台」の上で演じる予定だったが、降雨のため舞台は本堂の中に移った。

18世紀に作曲されたマルティーニの「音楽の先生」と「ドン・キホーテ」を上演。イタリアで活動する吉田裕史さんが指揮した。京都市内ではこれから毎年、「響の都 オペラの祭典」と銘打ち、名所・旧跡でのオペラ上演が計画されているという。（前田智、写真は戸村登）



朝日新聞 2013. 10. 24